



ふくちやまし

議会だより

No.34

平成12年11月1日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111



17年ぶりの大相撲福知山巡業

9月定例市議会の概要

9月定例市議会は、9月8日から28日までの21日間にわたって開催された。

この議会には、「平成12年度一般会計補正予算」など14議案が提出されたが、11年度決算の認定3議案と第3次総合計画基本構想の改定の議案については、それぞれ特別委員会を設置して継続審査することとし、残り10議案はいずれも原案どおり可決した。また、教育委員の任命についての2議案を、それぞれ同意するとともに、請願1件を採択し、意見書として関係機関へ提出した。

◆平成12年度補正予算

一般会計で、有料指定ごみ袋導入に要する経費1,989万3千円、一宮橋架け替えに要する経費4,160万円、寺町岡篠尾線ほか1線の築造に要する経費5,064万円など1億8,270万4千円を補正し、補正後の総額を267億4,196万9千円とした。また、特別会計では、下水道事業会計など2会計で1億436万円を補正し、補正後の全会計の総額を619億5,433万5千円とした。

◆条例

福知山城観光駐車場の新設に伴う「市営福知山駅前駐車場条例」

の一部改正、また、家庭系一般廃棄物にかかる有料指定ごみ袋制度の導入に伴う「福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部改正のほか、4条例の一部改正を行った。

◆物品の取得について

●救助工作車 7,791万円

◆人事議案

●教育委員

大西重喜氏（和久寺、70才、再任）

●教育委員

人見洋一氏（堀、57才、再任）

◎国へ提出した意見書

●平成12年度農業政策に関する意見書

（8ページに詳細を掲載）

一般質問 (9月定例会)

福政会

片山 照雄 和泉すゑ子
荒木 治清 芦田 弘夫
武田 光正 野田 勝康
大西 肇

万全か？市民病院の事故防止

全国的に医療事故や医療従事者による薬物に関わる事件が多発しているが、市民病院における医療事故防止対策および薬物管理を中心とした院内体制の確立、さらには安全管理システムの周知徹底などどのように取り組まれているのか。

看護の過程でミスがあることもあり、看護の基準を決めて事故防止に努めている。医療事故防止委員会の設置を検討し、チームワークによる事故防止に努めたい。

薬については、払い出し数のチェックと在庫管理の徹底に努め、保管場所に警報装置を設置するなど盗難防止にも努めている。

文化資料館の充実を

年間延べ人数にして6千人以上

(9月定例会)

上という多数の利用者がある文化資料館について、利用度の低い部屋の有効活用の方策、エアコンの設置や老朽水道管の更新など、利用者の要望にどう応えるのか。

修繕などについては所有者である京都銀行との協議と承認が必要で、市独自で対応できない。丹波衣の館が完成すれば、部屋も空くので活用できるように京屋とも協議したい。水道管の配管については、すでに工事に着手しており、9月中に完了する。

上六人部保育園移転新築の早期実現を

上六人部保育園の移転新築工事について、すでに用地の確保は済み、本年度は用地造成工事費が予算化されているが、依然として未着手の状況である。今後の見通しはどうか。

また、移転新築に向けた園舎の設計施工の段階に入れば、補助金獲得の必要もあるが、京都府並びに厚生省の補助金の対象事業となる見通しはあるのか。

造成工事は11月から着手し、来年1月末には完成の予定である。園舎の新築はできるだけ早く実現させたい。

補助基準は国が2分の1、府と市がそれぞれ4分の1を負担することになるが、これだけではなく市の単費も積み重ねなければならないと考えている。

管理職のあり方について

市民や職員の第一線を指揮監督する優秀な課長職像は。

行政に携わる者は、常に市民の要望に沿って対処しなければならぬ。管理職にある者は、部下を愛し信じるのが基本であり、部下に任せるだけでなく、責任をとる姿勢が大切である。

長田野周辺整備に関わる環境整備について

当初の説明によると天井川の改修は完了していなければならないが、完成時期のめどは。

天井川の改修は平成18年を完

了目標にしているが、府・市ともに財政状況が厳しく、まず国の補助金確保に努力する。

福祉施策について

福寿園の改築は。

もう少し時間をいただきたい。

下六人部保育園の増改築は。平成3年に一部改築したが、

改築とは別に改良を必要とする所は十分検討する。

鉄道児童公園の設置について

「鉄道のまち福知山」にふさわしい町づくりに旧北丹鉄道本社跡地に鉄道公園を。

私論ではあるが、機関区にある転車台をJRから提供していただき、それに除雪車を載せて公園整備をはかる事も考えられる。

豪雨対策に係る道路改良について

集中豪雨に備え市街地の道路、公園など公共施設は、透水性の高いアスファルト舗装に。

今回、市役所前の道路を透水性の高い舗装にした。今後、可能な限り透水性の高い舗装にしたい。

新浄水場の水質、水量は

問 下荒河地内に設置される浄水場の水質は良質で安全か、また計画水量と完成年度は。

答 完成は平成15年度、水質は良水であるが、飲料水に適しているかは、今後の調査による。水量は日量7、400トン。

新政会

穂田	司正	井上	重典
森田	泰英	松本	良彦
田中	泰治	加藤	弘道
塩見	仁	田淵	弘

介護保険について

問 10月から65歳以上の方は保険料徴収となるがどうか。

答 8月18日現在1万3、539人に通知、約1億715万円余りで、その後の変動は若干ある。

問 不服申し立て、苦情等についてはどうか。

答 一方的に天引きされる不満、サービスを利用しないのに差し引かれるなど数件あったが、ほとんどが納める手順の問い合わせで、円滑に進められている。

問 要介護認定者の保険利用状況はどうか。

答 6月分の状況は要介護認定者1、386人、サービス利用者1、177人と85%の方がサービスを受けている。市民にもっと

環境対策について

問 有料ごみ袋について地域説明会での反応はどうか。

答 安い値段にしてほしい、老人の家庭は配慮してほしい、ごみ処理は税金で行うべき、新聞・段ボールなどの資源ごみは分別収集を、また、自治会の美化作業ごみが無料にならないかという意見もあったが、大半の方は有料ごみ袋も仕方ないだろうという意見。説明会は、192回で、8、630人と市民の出席は良かった。

問 土師新町南地区に放置されていた産業廃棄物が8月末に完全撤去されたが、この問題を教訓として、今後はどう生かすか。

答 気がつけばすぐに連絡をとる

ことが大切。モラルに反することに対抗するとすれば、警察に連絡せざるを得ない。

問 リサイクルプラザの計画は。

答 早く建設するためには旧炉をつぶしたいが、解体に規制があり非常に困惑している。

国道9号岩崎交差点について

問 中六人部側から大型車が左折しにくいが対応はどうか。

答 用地問題と公安委員会の規制にもかかるので、今後の課題として検討していく必要がある。



国道9号岩崎交差点の現状

中山間地域直接支払制度について

問 当面の協定作成状況と具体的課題と対応方針は。

答 全体の作業スケジュールが遅

れている。北部・上六地域の急傾斜地を航空写真による調査及び農道・水路の状況を把握し、今後のスケジュールを決定したい。

商工行政について

問 中心市街地の活性化をはかる上で駐車場対策は。

答 御霊公園の地下駐車場は費用の面、周囲の状況、排水問題等で難点がある。厚生会館の改修と合わせ、今のパーキングを建て直すことを検討してもらっている。

問 緊急雇用特別対策事業の趣旨にそった雇用の創出は。

答 市では庁内7課で事業を実施している。雇用見込数は実人員で178人、延人員で3、787人、事業予算額は4、700万円余りとなっている。

由良川改修について

問 改修の進捗状況と今後の見通しは。

答 建設省も力を入れてもらっている。法線の明示により一つの目安がつく基本計画ができあがったところに意義がある。戸田の移転もはっきりした。安井地区も用地買収の準備が進められている。

教育環境の整備について

問 インターネットに対応できる機種数は。

答 できる機種数は現在21台、今後接続できるように変更していきたい。

問 司書教諭の義務化に対する対応はどうか。

答 12学級以上の学校は15年度より義務付けされる。現在20人であるが、多くの先生に資格をとってもらい増員していきたい。

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久

新年度予算編成について

問 市の新年度予算編成が、問近と迫っているが、どのような手順と方針に基づいて編成するのか。

答 本市の予算編成のスケジュールは、11月1日付で方針を策定し具体的に予算編成事務を進めていく。景気の状態がまだ完全に復帰したとはいえない中で、新年度の市税等一般財源は大きな期待はできない。しかしながら、どうしてもやらなければならない市民福祉の向上をはかるための施策は計上しなければならぬ。財政状況はきびしい環境にあるが、平成13年度は21世紀の当初にあたる節目の年度であり、市もそれにふさわしい予算編成をする必要がある。特別会計・企業会計は原則として

市北部地域の文化芸能伝承事業について

独立採算とし、健全経営を基本に編成を行っているが、事業については、査定もし縮小しなければならない事態も出てくる。

問 市北部地域の文化芸能を伝承する事業に対する関係地域の反応、受け入れ、協力体制は得られているか。

答 6月から金山・三岳地域の関係者の皆さんに事業についての説明をした。聞き取り調査や資料提供に協力していただいた。地元からも期待されている。今回は御勝八幡神社大祭の状況を正確に記録するとともに、金山・三岳地域の祭礼についても廃絶の危機があるので実態把握をして記録したい。

国道176号の道路改良について

問 国道176号の一尾から下天津出合まで(約1キロ区間)の歩道設置を要望してきた。その後の対応はどうなっているか。

答 府の管理道路になるが、府としては緊急度を考えると、現在、設置は考えていないようだ。今後府と折衝を続けていかなければならない。

地方公務員の天下り問題

問 市職員の退職については、定年退職、勸奨退職等あるが、今年、役職経験者が退職した翌日から企業及び市の外郭団体へ役職待遇で迎えられているが、社会的に見ても天下りではないか。

答 昨年度の退職者は23人、再就職者は9人で、市の嘱託に1人、国・府・市などの外郭団体に

問 採用人員若干名のところ22名6名の応募があったと報道されたが、昔から矛盾点が多いと聞いている。本市は人物評価と聞くが、市民が不信感を持たないよう公平な対応を望む声がある。

答 1次試験で教養と作文で、上位者を選び、2次試験で面接と適性検査を実施し、総合点数の上位者に合格通知をしている。

日本共産党市議員団

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

ごみ問題解決のために

問 指定袋制度の導入にあたり、分別収集をさらに充実する必要がある。ペットボトルやトレー

答 分別収集の徹底が重要だ。ペットボトルの収集は最重要課題だ。報奨金は現在キロ5円、引

7人、残り1人は、自分で就職先を見つけて民間企業へ勤めていると聞いている。

問 部長経験者が民間企業の部長として市役所内で名刺をくばり営業活動をしている。天下り行為ではないのか。

答 本人自らがしている行為で、しかたがないと思っている。

福知山市職員採用試験について

問 採用人員若干名のところ22名6名の応募があったと報道されたが、昔から矛盾点が多いと聞いている。本市は人物評価と聞くが、市民が不信感を持たないよう公平な対応を望む声がある。

答 1次試験で教養と作文で、上位者を選び、2次試験で面接と適性検査を実施し、総合点数の上位者に合格通知をしている。

き上げについては、来年度予算編成で検討したい。

介護保険料の減免を

問 10月から保険料の徴収が始まるが、低所得者への支援は緊急な課題。一番低い所得層の老齢福祉年金受給者の減免をする考えは。

答 対象者は25人ほど。低所得者の保険料については、十分調査し、対処したい。

小学生の放課後対策・中学校の修学旅行・教育施設改善

問 ほとんどの自治体に学童保育がある中で、「終わる時間が早い」「入学時に説明がない」「夏休みの校庭開放を知らされていない」など、校庭開放に対する市民からの意見や要望が強く出されている。改善の考えは。

答 学童保育を頭におきながら、学校・指導員・教育委員会が連携し、指摘された点を検討していきたい。

問 中学校の修学旅行先について、子どもたちの意見を聞くことは、また費用も高いと思うが見解は。

答 学校のカリキュラムとして位置づいている。費用については調査する。

問 小学校の保健室にエアコンの設置は。南陵中学校の本館にトイレがなく夜間が大変。改善は。

答 保健室のエアコンは計画的に設置する。南陵中学校は学校と協議しながらすすめる。

商業・農業の振興を

問 商業統計調査や事業所統計をみると、市内の商業は大変深刻な事態となっている。また大型テナントの撤退も大きな問題。市の対応は。

答 世情をよく物語っている。放つてはおけないので、商工会議所・商店街と一体になって活性化に向けて取り組みたい。テナントの撤退は残念。

問 米の価格が下がり、野菜の輸入も増えている。後継者対策の充実は。

答 青年で専従者は5人。後継者対策は大変重要。

情報公開制度の制定を

問 全国で8割を超える市で情報公開制度をもっている。府下では、福知山市と宮津市だけが未制定。いつ制定するのか。

答 現在懇話会で審議している。

今年中には何らかの諮問が出るのでは。

暴走族対策を

問 7月7日の「七夕走行」など、周辺住民は大変困っている。対策は。

答 警察や自治会等と協議してきた。現状と解決の方向で理解を広げる取り組みをしたい。

ゆずりトンネル開通後の安全対策を

問 ゆずりトンネルが開通すれば、国道9号のバイパスとしての

利用が予想され、安全対策が必要では。

答 安全標識を自治会とも協議し応えていきたい。



安全対策が急がれる国道429号

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

市立図書館の利用について

問 他の図書館の蔵書をコンピューターターによって検索できる、ネットワークシステムの導入は。

答 府立図書館が平成13年度から利用開始予定の、総合目録ネットワークシステムに早く参画できよう準備を進めている。

問 廃棄処分の本はどのようなになっているのか。リサイクルの観点から病院や地域集会所などに置く考えは。

答 毎年約1千冊の本を廃棄している。劣化がひどく貸し出し不能になったものがほとんどで、昨年度から書庫に保管している中から、いい本を市民病院の外来の小児科と小児科病棟、保健センターの検診待合室に置き、再利用している。

問 市民病院へ移動図書館を運行する考えは。

答 移動図書館の運行は現在30カ所。いま力を入れているのが

小学校と老人施設への運行。小学校は6校に増やしていきたい。市民病院も今後検討していきたい。

不登校の子どもたちの救済策について

問 少子化で子どもは少なくなっているが、不登校の調査の度にその数が増えている。救済策は。

答 原因はそれぞれ事情があり、一概には言えない。子どもの状況を冷静に見つめ、教諭と連携して教育相談に力を入れ、きめ細やかな指導に努めることが大切だ。必要に応じては登校指導もしなければならぬと思う。

市民プールの施策について

問 今年度の利用者数と総収入、移転新設の計画は。

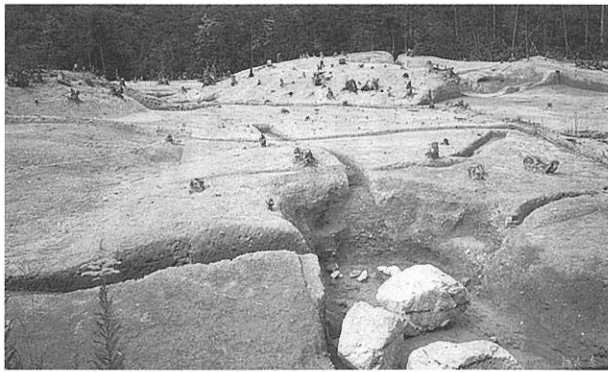
答 利用者数1万6、979人。総収入118万6、240円。平成元年・2年に大改修し、当分使用可能と考えている。移転新設の考えは持っていないが、遊具については検討する。

古墳遺跡の保存について

問 古墳に対する認識と姿勢、西谷古墳群の保存の考えは。昭和61年に出土した盤龍鏡の本物は

どこに保管してあるのか。

答 歴史や文化は残していきたいが、西谷古墳は学識経験者の意見を聞いて対処する。盤龍鏡の本物は庁内の金庫に保管してある。



保存が望まれる西谷古墳群

由良川の河川整備について

問 昭和28年の教訓はどのように生かされて整備されたのか。また、音無瀬橋下流右岸の一部未完成築堤の経過と展望は。

答 大野ダムの建設や河床掘削・内水処理対策を進めている。右岸築堤は民地で営業している業者の移転先を検討しているところである。

無会派

荒川 浩司
芦田 廣

学校関係の諸課題について

問 全小・中学校の図書館蔵書が標準に達していないが、目標値に対する本市の達成率は。

答 図書購入については学校長の裁量で予算配分をしている。小学校40・5%、中学校33・7%の達成率。

問 福天地域中学校における標準服の導入及びペットボトルのリサイクル繊維の採用について。

答 学校やPTAで選定委員会が設置され、平成14年より導入を予定。環境問題を考える上で効果的であり、検討がされている。

公共工事施工業者の安全指導は

問 事故防止の観点から、工事業者に対する安全指導は。

答 該当自治会に対して工事連絡をし、通行制限の徹底と協力依頼をしている。設計書の特記事項で安全対策における指示をしている。不備については、現場監督より適正な指導をしている。

国勢調査のプライバシー保護は

問 これまでの国勢調査で「調査員が顔見知りで見られる中を見られたくない」「封入すると関係がまづくなる」「おしゃべりで有名」「離婚や失業を知られたくない」等の苦情が出されている。本市の調査員のシステムやプライバシー保護の指導は。

答 自治会長が推薦し、総務庁長官が非常勤の国家公務員として任命。事務説明会は2時間行なっている。封入については調査員は開封できないが、指導員は市職員の間で開封を行ない、未記入の対応を行なう。前回の封入数は395件で1・7%である。

各世帯に配布された国勢調査調査票

常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

本定例会で市民厚生委員会に付託された諸議案について、9月22日に開催の委員会において慎重に審査した。

委員会においては、一般会計補正予算に關わつて、電機生ごみ処理機購入に対して3万円を限度に2分の1を助成する制度や有料指定ごみ袋導入に伴う補正などの質疑を行った。委員から、指定袋導入についての市民の声の具体的内容、袋の単価、袋単価の軽減化、袋の購入場所、袋の製造業者、ペットボトル及びトレー類の分別回収の推進、ペットボトルの圧縮機による対応などについて

て質疑や要望が出された。

理事者より、指定袋の単価設定についてはごみ処理経費の20%にし、可燃ごみの袋の価格は大型で40円、中型で30円、小型で15円となること が明らかにされた。袋の販売は、利便性を考慮に入れながら市内の店舗などにおいてお願いする予定であること、袋の企画は本市が行うが、製造業者は入札により決定することなど、委員の質問に対する答弁を得た。

この他、福祉事務所設置条例の一部改正案などを審査したが、採決により、いずれも原案どおり可決した。

総務委員会

議第13号平成12年度一般会計補正予算(第2号)の主なものとして、市税還付金の5、400万円は、景気の低迷による企業業績の悪化とNTTが昨年7月に持ち株会社に移行したことにより、当初見込み以上に法人市民税の還付が必要になったこと、常備消防費では災害発生時における適切な避難と人的災害の防止啓発のために、煙体験テント一式を購入するものである。

議第16号市営福知山駅前駐車場の有料化による条例改正である。

議第17号災害に際し応急措置の業務に従事したものに係わる損害補償に關する条例の一部を改正する条例の制定については、国の原子力災害対策特別措置法の制定に伴う条例改正である。

議第26号物品の取得については、新たに救助工作車を購入するもので、物品の契約及び財産の取得処分に關する条例第3条の規定により議会の議決を要するものである。

以上、当委員会に付託された4議案は、審査の結果、全員賛成で原案どおり可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された2議案について9月22日審査した。

議第13号一般会計補正予算の内、土木費道路橋りょう費については北小谷ヶ丘地内の一宮橋の架け替え工事に係る補正であり、都市計画費街路事業費は都市計画道路、寺町岡篠尾線ほか1線の築造に係る経費の補正である。

一宮橋の架け替えについては、橋梁の原型復旧であり、河川災害によるものではないので、国、府からの補助金はないとの説明を受けた。要望として通学路でもあるし鉄道もあり交通量の多い場所

あるので、工事中の安全対策には万全を期すよう複数の委員から申し出があった。

議第16号の駐車場条例の一部改正については、緊急自動車等の駐車料金の免除について新たに明記して事務対応しやすくなるよう改正するものであるとの説明を受けた。

以上当委員会に付託された議案は審査の結果、全員賛成で原案どおり可決した。

経済委員会

議第13号平成12年度福知山市一般会計補正予算(2号)は、農地の有効活用や変動等を地図上で確認し、現在の農地管理システムと地図を連動させるもので全額補助事業、及び農道舗装事業の追加補助に伴う歳出補正であり、委員からは、農地管理に非常に有効で早く整備をし、活用できるようにとの要望が出された。

議第14号平成12年度福知山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、土師川水管橋老朽化対応の塗装、空気弁の更新と増設、和久市第1ポンプ場の汚水ポンプ3基の更

新等であり、委員から塗装の工期、安全対策、工事中の生活への支障等について質疑があり、地元業者への発注についても要望が出された。

議第15号平成12年度福知山市農業集落排水施設事業特別会計補正予算(第1号)は、北部地区農業集落排水施設整備事業の追加補助と、起債でまかなえない5万円を一般会計より歳出をするものであり、地元負担が軽減される方策を検討し、快適な生活ができるよう要望が出された。慎重審議の結果、採決を行い、全員賛成で原案のとおり可決した。

